

防災対策2

非常用持ち出し品の準備

「非常用持ち出し品」とは、災害が発生した時、避難する際に最初に持ち出すものです。非常用持ち出し品は、市内の食料品店や防災器具販売店などで購入できます。

ここでは、日常生活で使う食材などを多めに購入・常備して使いながら、いざという時に備える「ローリングストック法」を紹介します。



非常用持ち出し品としての飲み物や食べ物は、冷蔵庫などにリストを貼って保管し、賞味期限を確認して、定期的に入れ替えながら、いざという時に備えましょう。まずは、身近なところから始めてみませんか

鈴木 豪さん（災害協定締結団体 株式会社マルイ）津山市と災害協定を締結した団体の一つで、災害時の食料の支援などの体制を整えています

ローリングストック法



非常用持ち出し品チェック表 (食料品は賞味期限を記入して活用ください)

チェック1 飲み物

	賞味期限
<input type="checkbox"/> 携帯用飲料水	平成 年 月 日



やっぱり、安全に飲める飲料水が大切なんですね



築山さん

チェック2 食べ物

	賞味期限
<input type="checkbox"/> パックごはん	平成 年 月 日
<input type="checkbox"/> 缶詰	平成 年 月 日
<input type="checkbox"/> 乾パン	平成 年 月 日
<input type="checkbox"/> カップ麺	平成 年 月 日
<input type="checkbox"/> ビスケット	平成 年 月 日
<input type="checkbox"/> チョコレート	平成 年 月 日



矢野さん

備蓄量は一人当たり3日以上を目標にすると良いみたいです

チェック3 暮らしに必要なもの (衣類など)

<input type="checkbox"/> 下着	<input type="checkbox"/> 衣類
<input type="checkbox"/> ヘルメット	<input type="checkbox"/> 軍手
<input type="checkbox"/> 防災ずきん	<input type="checkbox"/> 貴重品(現金、通帳など)
<input type="checkbox"/> 救急用品	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ
<input type="checkbox"/> 生理用品	<input type="checkbox"/> 電池
<input type="checkbox"/> マッチ、ろうそく	<input type="checkbox"/> 毛布、タオル

小さな子どもがいる家庭は

<input type="checkbox"/> ミルク	<input type="checkbox"/> 紙おむつ
<input type="checkbox"/> ほ乳びん	



それぞれの家庭で、お年寄りや子どもたちにも配慮して必要なものを準備しておくといいですね



信定さん

準備したら、両手が使える袋に入れて持ち出しやすい場所に保管しておきましょう



平成28年(2016年)熊本地震で被災された皆様に対し、心からお見舞い申し上げます。

津山市周辺にはいくつもの断層があり、大規模な地震の発生を想定した警戒が必要です。また、近年、日本全国で集中豪雨や大型台風による被害が発生していて、岡山県も決して例外ではありません。今年も出水期(梅雨)を迎え、いつ、どこで起こるか分からない災害への備えを「今日から」始めてみませんか。

今回の特集では、学校法人美作学園 美作大学・美作大学短期大学部消防応援隊の皆さんと一緒に、身近な事からできるさまざまな防災対策について紹介します。

岡危機管理室 ☎32-2042

岡山県付近の各断層の位置

「岡山県に被害の発生が懸念される断層型地震の被害想定について」(平成26年5月公表岡山県による調査)から抜粋



美作大学消防応援隊の皆さん



矢野 亮さん 大塚 丈暉さん 築山 知弘さん 信定 裕也さん

防災対策について調査し、皆さんに紹介していきます

消防応援隊とは

消防署や消防団などの指導や助言を受けながら、消防・防災に関する知識や技術の習得に努め、大学や地域で、学生や地域住民への普及啓発、防災訓練への参加などの活動を行っている団体です。県内では、美作大学・美作大学短期大学部と岡山県立大学の2つの大学が認定を受けて活動しています。

防災対策1

「緊急告知防災ラジオ」や「防災行政無線」で情報収集



市では、災害発生時の情報伝達手段となる「緊急告知防災ラジオ」を購入・設置する旧津山市内の世帯を対象に補助を行っています。また、加茂・勝北・久米・阿波地域では、「防災行政無線」で災害情報の伝達を行っていますので、災害時の情報収集にご活用ください。

「緊急告知防災ラジオ」設置補助制度

対象 旧津山市内に住所を有し、居住している人(1世帯につき1台を限度)

補助金額 購入に要した費用の3分の2以内(上限6,000円)
※申込方法など、詳しくは危機管理室へお問い合わせください

取り組み事例紹介 町内の全世帯にラジオを設置

下横野町内会では、災害時に、避難情報などの必要な情報を入手し、早めに行動することが重要だと考え、停電時でも使用できる「緊急告知防災ラジオ」を町内の全世帯に設置しました。体の不自由な人や高齢者にもいち早く情報を知ってもらい、地域で助け合って災害に備える体制づくりを目指しています。このような取り組みが、市内全域に広がり、市全体の防災意識が高まれば良いと思います。



下横野町内会長 竹内 徹さん(下横野)